

令和4年第4回熊野町議会臨時会

会議録（第1号）

1. 招集年月日 令和4年11月4日

2. 招集の場所 熊野町議会議場

3. 開議年月日 令和4年11月4日

4. 出席議員（16名）

1番 水原耕一	2番 福垣内邦治
3番 光本一也	4番 中島数宜
5番 尺田耕平	6番 竹爪憲吾
7番 諏訪本光	8番 沖田ゆかり
9番 片川学	10番 時光良造
11番 民法正則	12番 荒瀧穂積
13番 山吹富邦	14番 山野千佳子
15番 中原裕侑	16番 大瀬戸宏樹

5. 欠席議員（0名）

なし

6. 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町長	三村裕史
副町長	岩田秀次
教育長	平岡弘資
総務部長	西村隆雄
住民生活部長	貞永治夫
健康福祉部長	時光良弘
建設農林部長	堂森憲治
教育部長	隼田雅治
総務部次長	西岡隆司

住民生活部次長	西川伸一郎
健康福祉部次長	西村ゆり
建設農林部次長	安宅俊道
教育部次長	立花太郎
財務課長	多久見良数
政策企画課長	須賀雅彦
産業観光課長	近藤光宏
収納管理課長	福嶋春樹
防災安全課長	花岡秀城
生活環境課長	熊野孝則
高齢者支援課長	井原志保里
子育て支援課長	佛圓至裕
健康推進課長	桐木和義
農林緑地課長	堀野准
都市整備課長	宗像雅充
会計課長	福垣内哲治

~~~~~○~~~~~

7. 本会議に職務のため出席した者の職氏名

|         |      |
|---------|------|
| 議会事務局長  | 榎並正和 |
| 議会事務局書記 | 尾濱宏教 |

~~~~~○~~~~~

8. 議事日程（第1号）

開会宣告

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 会期の決定
- 日程第 3 議案第39号 専決処分した令和4年度熊野町一般会計補正予算（専決第2号）の報告及び承認について
- 日程第 4 議案第40号 令和4年度熊野町一般会計補正予算（第3号）について

~~~~~○~~~~~

9. 議事の内容

(開会 9時30分)

○議長(大瀬戸) ただいまの出席議員は16名です。定足数に達していますので、ただいまから令和4年第4回熊野町議会臨時会を開会します。

これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程はお手元に配付したとおりです。

~~~~~○~~~~~

○議長(大瀬戸) これより日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本臨時会の会議録署名議員は、会議規則第125条の規定により、1番、水原議員、2番、福垣内議員、3番、光本議員の3名を指名します。

~~~~~○~~~~~

○議長(大瀬戸) これより日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。本臨時会の会期は本日1日のみとしたいと思いますが、これに御異議はありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(大瀬戸) 異議なしと認めます。

よって、会期は本日1日とすることに決定しました。

これより議案等の説明を求めため、町長、その他の関係職員の出席を求めます。

暫時休憩します。

(休憩 9時31分)

(再開 9時32分)

~~~~~○~~~~~

○議長(大瀬戸) 休憩前に引き続き、会議を再開します。

これより日程第3、議案第39号、専決処分した令和4年度熊野町一般会計補正予算(専決第2号)の報告及び承認についてを議題とします。

提案者から提案理由の説明を求めます。三村町長。

~~~~~○~~~~~

○町長(三村) 議案第39号、専決処分した令和4年度熊野町一般会計補正予算(専決第2号)の報告及び承認につきまして、御説明申し上げます。

専決処分した令和4年度熊野町一般会計補正予算(専決第2号)につきましては、既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億3,351万8,000円を追加し、歳入歳出予

算の総額を100億9,938万円とするものでございます。

内容につきましては、電力・ガス・食料品等の価格高騰を踏まえ、特に家計への影響  
が大きい低所得者に対して、1世帯当たり5万円の給付金を支給するための費用及びこ  
れに対する国庫補助金など、1億3,351万8,000円を歳入歳出予算にそれぞれ増  
額補正したもので、支給に係る予算を早急に措置する必要があることから、地方自治法  
第179条第1項の規定に基づき専決処分したものでございます。

御審議の上、御承認賜りますよう、お願い申し上げます。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 以上で提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。質疑はありますか。

光本議員。

~~~~~○~~~~~

○3番（光本） 支給対象世帯について、ちょっと詳しく教えてください。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 西村健康福祉部次長。

~~~~~○~~~~~

○健康福祉部次長（西村） 令和3年度、令和4年度の非課税世帯への支給件数が2,4  
88世帯でございました。これをもとにいたしまして、非課税世帯を2,590世帯、  
それから家計急変世帯を合わせまして2,600世帯と見込んでおります。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 光本議員。

~~~~~○~~~~~

○3番（光本） 家計急変世帯について、どの程度の急変があった世帯なのかも含めてち  
よっと詳しく教えてください。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 西村次長。

~~~~~○~~~~~

○健康福祉部次長（西村） 令和4年1月からこの12月までの家計が急変したというこ  
とで、任意の1か月を、その世帯でございますけれども、12掛けまして、非課税世帯

と同等の収入になるということになりますと対象になります。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 光本議員。

~~~~~○~~~~~

○3番（光本） ということは、一月でも給料がぐんと減った場合でも対象になるということによろしいですか。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 西村次長。

~~~~~○~~~~~

○健康福祉部次長（西村） そのとおりでございます。ですが、それを12掛けまして、世帯全員で見まして非課税世帯相当額以下ということになれば支給対象となります。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 荒瀧議員。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） 令和2年から大変コロナということで、業務も増えて大変なことございましたでしょう。それを今、乗り切りつつあるかと思いながら、ウクライナでは軍事侵攻というやり方で、原油が上がり、食料が上がっております。そんな中、またクーポンを出されるということのようでございますけども、今回はウエイトが85%と、予算額の中では随分析外れの金額になるわけでございますが。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 荒瀧議員、クーポンに関しては後からまた出ます。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） まだ出とらんのか、失礼しました。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） ほかにございませんか。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（大瀬戸） これをもって質疑を終結します。

これより討論を行います。討論はありませんか。

(「討論なし」の声あり)

○議長(大瀬戸) これをもって討論を終結します。

これより議案第39号について採決します。

本案については、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(大瀬戸) 異議なしと認めます。

よって、議案第39号については、原案のとおり可決されました。

~~~~~○~~~~~

○議長(大瀬戸) これより日程第4、議案第40号、令和4年度熊野町一般会計補正予算(第3号)についてを議題とします。

提案者から提案理由の説明を求めます。町長。

~~~~~○~~~~~

○町長(三村) 議案第40号、令和4年度熊野町一般会計補正予算(第3号)につきましては、既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億7,273万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を102億7,211万3,000円とするものでございます。

内容につきましては、国・県支出金を活用し、新型コロナウイルスや物価高騰などに対応した諸施策を計上するものでございます。

一般会計補正予算案の詳細につきましては、副町長から説明をさせます。

御審議の上、御承認賜りますよう、お願い申し上げます。

~~~~~○~~~~~

○議長(大瀬戸) 岩田副町長。

~~~~~○~~~~~

○副町長(岩田) 議案第40号、令和4年度熊野町一般会計補正予算(第3号)案につきまして、その主な内容を説明させていただきます。

まず、歳入予算につきまして御説明いたします。

8ページ、9ページをお開きください。

14款・国庫支出金の2項・国庫補助金では、1目・総務費補助金におきまして、新型コロナウイルスや物価高騰などに対応した事業の財源として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金9,919万円の増額。

15款・県支出金の2項・県補助金では、7目・商工費補助金におきまして、地域経

济応援クーポン券の発行に係る財源として、原油価格・物価高騰等中小企業支援緊急対策事業補助金2,078万6,000円の増額。

18款・繰入金の2項・基金繰入金では、1目・財政調整基金繰入金におきまして、予算の収支均衡を図るため5,275万7,000円の増額でございます。

続きまして、歳出予算について御説明いたします。

10ページ、11ページをお開きください。

2款・総務費の2項・企画費では、行政情報化事業におきまして、町内4か所の公共施設にインターネット環境を整備するための費用として、174万9,000円の計上でございます。

続きまして、4款・衛生費の1項・保健衛生費及び3項・上水道費では、新型コロナウイルスや物価高騰など影響を受けている住民の方々の生活を支援するため、水道料金を免除するなどの費用を計上しております。環境衛生事業では、未給水世帯に対して補助金を支給するための費用133万4,000円。10ページ下段から13ページに記載しております上水道会計繰出金では、給水世帯に対して水道料金を免除するための費用相当分を上水道会計へ繰り出すための費用として2,265万円をそれぞれ計上しております。

続きまして、6款・1項・商工費では、商工振興事業におきまして、住民の方々の生活支援を行うとともに、町内の経済循環を回復させる一助とするため、地域経済応援クーポン券を全世帯に発行するための費用として、1億4,700万円の計上でございます。

説明は、以上でございます。

~~~~~〇~~~~~

○議長（大瀬戸） 以上で提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。質疑はありますか。

荒瀧議員。

~~~~~〇~~~~~

○12番（荒瀧） 失礼をいたしました。ヒューマンエラーでございます。ちょっとほかのことを考えておりましたので、1つ早くなりましたが。

クーポン券の件でございます。今回で4回目になります。コロナ、これの整理がまだできておりませんね。最初は随分死亡者が出られて、パニックになって、オリンピック

を控えて、安倍総理は国内を停止状態にされました。持続化給付金とか様々な手を打たれて進められる中で、国民もどういふふうになれば対応できるかと悩み続けたところがございます。感染症対策に対して国の医療関係の体制の不備も当然出てくることだと思うんですが、私どもの生活を守るために1つの方法としてこのクーポン券を選ばれたと。

町民としては随分やっぱり好評なんです。お金をもらえる、金券をもらえるというのは、やっぱりうれしいんだろうと思うんですが、ただ、うれしいだけではまた困るところでございます。主権者は町民なんです。町民とすれば、本来はこのお金があるなら、町の将来に向けてのお金を投資すべきところはないのかという意見も当然あってもいい問題だと思うんですが、ただ、そんな中、今回4回目でございますけど、それまでにどういふ業者にどれだけの委託料で出されたか、ちょっとお聞きしたいと思います。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 近藤産業観光課長。

~~~~~○~~~~~

○産業観光課長（近藤） 令和2年度から毎年行ってるんですけども、委託業者につきましては、プロポーザル方式により募集を行いまして、過去3回とも株式会社近畿日本ツーリスト中国四国のほうに委託をしております。委託金額でございますけれども、令和2年度の金額が6,636万8,123円、それから令和3年度の委託料、事業費が7,417万7,226円となっております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 荒瀧議員。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） 委託料の中に、例の金券金額、要は現金化するときのお金も入ってますね、これは。実質的に業者の委託料は幾らでございますか。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 近藤課長。

~~~~~○~~~~~

○産業観光課長（近藤） 令和2年度が、事務費といたしまして2,036万9,000円、それから令和3年度が、事務費といたしまして1,732万2,000円となっております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 荒瀧議員。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） 令和4年度は現在進行中でございますね、12月25日まででございますから。ただ、委託料は決まっておるんじゃないでしょうか。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 近藤課長。

~~~~~○~~~~~

○産業観光課長（近藤） 令和4年度につきましては、事務費といたしまして1,900万円となっております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 荒瀧議員。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） 大変なことの中で、ホテル業界、旅行業界は大変苦戦であるという中で、近ツリもそのプロポーザルの中に入ってこられたと思うんですが、ほかには町内業者などは、ほかの業者プラス町内の業者はおられなかったわけですか。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 近藤課長。

~~~~~○~~~~~

○産業観光課長（近藤） 過去には町内の業者の申込みはございませんでした。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 荒瀧議員。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） 町内の業者も、特に筆の里工房とか商工会も苦戦をされていらっしゃると思うんですが、この業務はそんな特殊な業務になりますかね。こういうチケット、クーポンを作られて、個別に郵政が配達されるようにお伺いするんですが、いかがでしょうか。

〇議長（大瀬戸） 近藤課長。

〇産業観光課長（近藤） 特殊というか、旅行会社じゃないとできない業務ではないと思っております。

以上です。

〇議長（大瀬戸） 荒瀧議員。

〇12番（荒瀧） このあたりの委託の仕方ですね。町内でもできる印刷会社もあるわけですから、筆の里工房も入館者が減って、収入源が減ったという意味では、電通の例もあります。トンネルという批判もされていますが、私はある意味での形の公共事業だろうと思うんですね。適正な利益を残しながら、様々な業界を使いながらネットワークをまたつくっていくわけですが、今回の入札はどんな様子でございますか。

〇議長（大瀬戸） 近藤課長。

〇産業観光課長（近藤） このたびにつきましては、スケジュールも短いことから、速やかに業務が取りかかれるよう、現在実施していますクーポン券事務との調整を踏まえまして、慎重に進めてまいりたいと考えております。

以上です。

〇議長（大瀬戸） 荒瀧議員。

〇12番（荒瀧） 旅行業界も随分復活されてきました。で、このコロナを経験してやはり日本の資本主義の業態の限界、サステナビリティというか、SDGsがちよっといびつであると。要は、これによって全部旅館がストップする、旅行がストップするという時代はもう超えなくちゃいけないんですね。またコロナのようなウイルスがやっと思いまして、そんな中で、これの発行の仕方、入札の仕方、キュウケイが高くなればなおさら、今までのノウハウから考えたら近畿ツーリストになりやすいように

考えるんですが、いかがでございますか。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 西村総務部長。

~~~~~○~~~~~

○総務部長（西村） 今、この3回は近畿日本ツーリストさんを取っていただいています。

今から、先ほど課長も申しましたけども、早急、可及的速やかに今回の契約のほうを進めてまいりたいと考える中で、慎重に考えまして、また進めたいというふうに考えます。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 荒瀧議員。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） 特に、観光で町内に呼べるところっていうのはやっぱり工房になるんだろうと思うんですね、今回の建物の設計も踏まえて。近ツリ等の工房のそういう旅行者、入り込み観光客を誘致する意味でも、私は工房などを活用して近ツリとのネットワークをつくられたほうがいいように思うんですが、いかがでしょうか。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 岩田副町長。

~~~~~○~~~~~

○副町長（岩田） このクーポン券事業につきましては、単なる印刷をする業者ということではなくて、もちろん偽造防止であったりとか、デザインとか、そういったようなことが十分なされているかどうかということと、その後回収をして、最終的にはお金を払っていくわけですが、そこまでのシステムがちゃんとできるかどうかと。こういうようなことをトータルで考えまして、それからすると委託という形が好ましいということで、町の関係のものが入ってやるよりも、委託業者できっちり責任を持ってやってもらうということがいいということと、条件をつけずにプロポーザルで募集をしたということで対応したものでございます。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 荒瀧議員。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） いろいろなノウハウが一極に集中するというのは、逆に言えば困ると

いう状態も発生しやすうございます。特定業者に偏りやすくなると。この状態からしますと、やっぱり工房の活用というのは、随分、私、必要かと思うんですね。

業者はそれぞれおるわけですから、それに発注すれば済むわけでございますので、近ツリの、近ツリってまだ決まっておらんかもしれませんが、手数料を少し下げてくださいになりして、町内にそういうお金も配分するというノウハウも蓄積しながら、やはり大切なお金ですから、有効に、どこかに偏ったりしないように、満遍なく活性化できるようにすると。

ちなみに、町内の小売業者の売上げが上がったか下がったか、調べていらっしゃいますか。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 岩田副町長。

~~~~~○~~~~~

○副町長（岩田） まず、クーポン券事業をどういうふうに評価するかということについては、まだ詳細に行ったわけでもありませんし、また測定というのは非常に困難でございます。600円で1,000円以上使える、幾ら使われたかというのを調査するのは非常に困難な面があるかというふうに思います。それとか、今言われた税収への影響とか、こういうのはなかなかそれが業績につながったか、利益につながったかというのはなかなか難しいところはあります。

ただ、今回の事業の趣旨は、こういった物価高騰による住民の生活への影響とか、それとか所得減少などによる住民とか企業の影響を考えて、早急に効果の出る、消費効果のあるような、すぐ発現するような事業を考えなさいということでこの事業を今やっているものでございます。そういう面でいえば、今回の発行機会に、従来よりも600円に上乗せする消費喚起と、もちろん1,000円以上ですから、そういう部分と、このクーポン券発行を機会に新たに消費しようというような、そういったような誘発するような効果ももちろん期待してやっておりますので、額面以上の効果は、消費効果は短期間のうちに発現できたんじゃないかというふうには考えております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 荒瀧議員。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） 少しずつレベルを上げてまいりましょう。まだまだこの軍事侵攻は長引くようでございますし、原油もLPガスも価格変動が維持するだろうと思います。

ちなみに、ハローズさんは売上げが上がりよりも、コロナで。だから、業態によっては巣ごもりで需要が上がるんですね。で、今は物価高で悩んでますね。だから、それぞれ為替の動きからもろもろ含めて、その中で町民の幸せ感をいかに充実させるかという意味では、クーポンを配るといのはありがたいんですが、10年先、20年先の投資もどうしたことをすればいいかも議論をしながら、有効にお金を使っていく。これをぜひ御検討いただきたいと思います。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） ほかにございませんか。

沖田議員。

~~~~~○~~~~~

○8番（沖田） 11ページの行政情報化事業、町内施設にネット環境を整備していただけるということで、これ町民の利便性が向上するということで大変喜んでくださると思うんですけども、大体整備が整って住民さんが利便性向上、高まる時期というのが、大体でいいですので、分かれば教えてください。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 須賀政策企画課長。

~~~~~○~~~~~

○政策企画課長（須賀） 今の出先の機関においては、庁舎内の職員のようにリモートワークであるとか、そういった研修などに参加する設備が整っておりません。庁舎の職員と同じような状況を施設のほうにつくるということで、そちらのほうにつきましては、設定が終わればすぐ効果が出るものというふうに考えております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 沖田議員。

~~~~~○~~~~~

○8番（沖田） 時期がちょっとはっきり分からないということですかね。今おっしゃられたのは、コロナ禍でリモートワークなどの環境が今はこの庁舎と同じように整ってないということでしたので、例えばいろいろな町公民館講座がありますよね。それをコロ

ナになって、例えば休館になって全く活動ができなくなって困っていらっしゃる町民の方もたくさんいらっしゃると思うんですけども、こういった環境を整えば自宅にいなからグループ活動というか、そういったものもできるようになると考えてよろしいですか。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 須賀課長。

~~~~~○~~~~~

○政策企画課長（須賀） 議員言われるように、そのような形になるというふうに思います。時期的にはまだ契約等を今からしていきますので、今年度中、できれば早い2月末ぐらいまでには実施したいというふうに考えております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） ほかにございませんか。

光本議員。

~~~~~○~~~~~

○3番（光本） クーポン券のちょっと確認なんですけども、現在も実施中ですけども、内容的には、今実施されてるものと同様と考えてよろしいですか。割引金額600円、1,000円以上、枚数等、お願いします。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 近藤産業観光課長。

~~~~~○~~~~~

○産業観光課長（近藤） 前回との違いですけども、クーポン券のほうは13枚から20枚になると。これにつきましては、今は飲食店専用のクーポン券3枚含まれているんですけども、今回は20枚全て共通のクーポン券を考えております。

それ以外については同じではあるんですけども、配達方法が、これまで簡易書留で送っていたんですけども、これにつきましては、郵便局のほうは12月がちょっと繁忙期で忙しいということもございまして、配達記録での郵送を考えております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 光本議員。

~~~~~○~~~~~

○3番(光本) じゃあ、12月、年内にはもう配達して、各世帯に届くと。利用期間はもう1月に入ってからということぐらいですかね。

~~~~~○~~~~~

○議長(大瀬戸) 近藤課長。

~~~~~○~~~~~

○産業観光課長(近藤) 郵送については12月の上旬から中旬にかけて配達を行いました、今予定では、実施期間については12月26日から約2か月間を予定しております。以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長(大瀬戸) ほかにございませんか。

(「質疑なし」の声あり)

○議長(大瀬戸) これをもって質疑を終結します。

これより討論を行います。討論はありませんか。

(「討論なし」の声あり)

○議長(大瀬戸) これをもって討論を終結します。

これより議案第40号について採決します。

本案については、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(大瀬戸) 異議なしと認めます。

よって、議案第40号については原案のとおり可決されました。

以上で、本日の日程は全て終了しました。

それでは、本日はこれにて散会します。

皆さん、大変お疲れさまでした。

(散会 10時00分)

上記の記録の内容が正確であることを証するため署名する。

熊野町議会議長

署名議員

署名議員

署名議員